

# Act for SEA!

- 1 自治体名 富山県立滑川高等学校 海洋クラブ
- 2 発表者名(所属名) 発表:寺西柚香、中島真美、松林麗奈、PC操作:倉本翔花(すべて海洋科2年)
- 3 活動名 Act for SEA! (1) 海岸クリーンアップ活動、(2) サクラマス放流、(3) アマモ定植(ダイビング活動)、(4) 植林活動
- 4 活動期間 (1) 2003年から毎年実施(2) 4月、6月、9月(3) 9月(4) 6月
- 5 活動場所 滑川市高月海岸((1)(3))、上市川((1)(2))、滑川市および魚津市(4)
- 6 活動参加人数 年間ではのべ100名程度、1回あたりは最大40名
- 7 活動をはじめた経緯 学習活動の一環で校外での地域貢献活動を積極的に行う目的で、海洋クラブ会則に則って行動しています。

## 8 発表要旨

### (1) 海岸クリーンアップ活動

全国クリーンアップ事務局の方式により、2003年から毎年春と秋に海岸漂着ゴミの調査を行っている。蓄積されたデータから、漂着ゴミは「軽い材質の生活ゴミ」がほとんどであることがわかった。近年、年間に収集したゴミ量の合計は減少傾向にあるが、実感としてまだまだ解決していない問題だと感じている。

### (2) サクラマス放流

県内では絶滅危惧種となっているサクラマスの稚魚を2007年から放流している。以来、累積放流尾数は1万尾を超えた(2015年)。実習施設は成魚までの養殖が可能で、名産「ます寿し」の製造にも挑戦している。

### (3) アマモ定植(ダイビング活動)

2007年から、ダイビング資格を持つ海洋科生徒が水槽で育成した海草類(アマモ)を植えている。富山湾東部の沿岸は、周期的に海が荒れるためアマモ定植の挑戦は一進一退だ。近年、周辺を囲うブロックの設置や食害を受ける貝類の駆除などの工夫も試みられている。

### (4) 植林活動

2009年から、魚津漁業協同組合が取り組む植林活動に参加した。2013年には富山県の「森の祭典」が地元滑川市で開催され、話題の無花粉杉「立山森の輝き」を植樹するなど豊かな海づくりの多面的な活動の象徴となっている。



- 9 発表時の発表媒体の有無  
有(パワーポイント)